



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 上組

コード番号 9364 URL <https://www.kamigumi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長

(氏名) 深井 義博

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務本部長

(氏名) 岸野 保宏

TEL 078-271-5119

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	184,073	△0.0	17,036	△0.2	18,140	△1.8	12,479	0.7
28年3月期第3四半期	184,138	0.6	17,068	△1.0	18,475	1.5	12,392	6.4

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 14,247百万円 (26.2%) 28年3月期第3四半期 11,293百万円 (△17.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	49.84	—
28年3月期第3四半期	48.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
29年3月期第3四半期	368,475		312,932		84.9
28年3月期	359,942		301,944		83.9

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 312,876百万円 28年3月期 301,891百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	6.00	—	7.00	13.00	
29年3月期	—	6.00	—			
29年3月期(予想)				7.00	13.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	245,000	1.1	23,000	4.5	24,300	1.9	16,300	1.8	65.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	274,345,675 株	28年3月期	274,345,675 株
29年3月期3Q	23,933,313 株	28年3月期	23,930,828 株
29年3月期3Q	250,413,567 株	28年3月期3Q	254,306,146 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国においては連邦準備制度理事会が政策金利の引き上げを実施するなど景気は幅広く改善が見られるものの、アジアにおいては中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化や、欧州においても英国のEU離脱問題等の影響を受け先行きは不透明な状況となっております。

わが国においては、景気は緩やかな回復基調が続いているものの設備投資や企業収益の改善に足踏みがみられるなど、力強さに欠ける展開となりました。

物流業界におきましては、為替相場変動等の影響により、輸出入貨物は低水準な取扱いが続き、経営環境は厳しい状態が継続しました。

このような状況下にあつて当社グループは、神戸地区及び中部地区において流通加工用倉庫、鹿児島地区において定温倉庫を新設するなど、顧客のニーズで物流をデザインする「上組デザイン物流」を推し進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における営業収益は、物流倉庫の増設効果により穀物、飼料原料等が増加となり併せて自動車の取扱いも増加となったものの、国際プラント貨物の減少により、前年同期に比べて微減の1,840億73百万円となりました。利益面におきましても、営業利益は前年同期に比べて0.2%減益の170億36百万円、経常利益は配当収入の減少等により、前年同期に比べて1.8%減益の181億40百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益におきましては、法人税率等の引き下げなどにより、前年同期に比べて0.7%増益の124億79百万円となりました。

各セグメント別の事業の状況は次のとおりであります。

〔国内物流事業〕

国内物流事業におきましては、穀物、飼料原料及び自動車等の取扱いが堅調であることなどにより、営業収益は前年同期に比べて2.9%増収の1,567億36百万円、セグメント利益は前年同期に比べて2.8%増益の157億18百万円となりました。

〔国際物流事業〕

国際物流事業におきましては、国際プラント貨物の取扱い減少等により、営業収益は前年同期に比べて18.5%減収の205億62百万円、セグメント利益は前年同期に比べて26.6%減益の7億13百万円となりました。

〔その他〕

その他の事業におきましては、エネルギー関連設備の運搬業務の取扱いが増加となったものの、建設事業や機工、酒類製造販売業及び物品販売事業の取扱い減少等により、営業収益は前年同期に比べて4.3%減収の153億97百万円となり、セグメント利益は前年同期に比べて24.4%減益の6億2百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、「有価証券」が減少したものの、「現金及び預金」、「有形固定資産」及び「投資有価証券」が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて85億33百万円増加の3,684億75百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、「支払手形及び営業未払金」が増加したものの、「未払法人税等」が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて24億55百万円減少の555億42百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益による「利益剰余金」及び「その他有価証券評価差額金」が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて109億88百万円増加の3,129億32百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、84.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の業績は概ね計画どおり推移しており、平成28年5月13日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,330	42,646
受取手形及び営業未収入金	41,225	43,766
有価証券	23,299	—
たな卸資産	1,142	1,168
その他	8,831	7,657
貸倒引当金	△53	△57
流動資産合計	91,775	95,181
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	108,895	108,244
土地	92,477	93,317
その他(純額)	20,509	23,526
有形固定資産合計	221,882	225,088
無形固定資産	8,295	7,951
投資その他の資産		
投資有価証券	28,205	31,879
その他	10,010	8,597
貸倒引当金	△226	△222
投資その他の資産合計	37,988	40,254
固定資産合計	268,166	273,293
資産合計	359,942	368,475
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	24,951	26,026
未払法人税等	3,918	1,585
賞与引当金	142	80
その他	11,875	9,822
流動負債合計	40,888	37,515
固定負債		
役員退職慰労引当金	25	26
船舶特別修繕引当金	7	10
退職給付に係る負債	15,845	16,136
その他	1,231	1,854
固定負債合計	17,109	18,026
負債合計	57,997	55,542

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,642	31,642
資本剰余金	26,854	26,854
利益剰余金	259,580	268,804
自己株式	△19,347	△19,350
株主資本合計	298,729	307,950
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,538	6,394
為替換算調整勘定	△7	△215
退職給付に係る調整累計額	△1,368	△1,253
その他の包括利益累計額合計	3,162	4,926
非支配株主持分	52	55
純資産合計	301,944	312,932
負債純資産合計	359,942	368,475

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
営業収益	184,138	184,073
営業原価	154,519	154,529
営業総利益	29,619	29,544
販売費及び一般管理費	12,551	12,508
営業利益	17,068	17,036
営業外収益		
受取利息	77	41
受取配当金	693	542
持分法による投資利益	376	311
その他	308	333
営業外収益合計	1,455	1,228
営業外費用		
為替差損	9	106
その他	37	17
営業外費用合計	47	124
経常利益	18,475	18,140
特別利益		
固定資産売却益	71	39
補助金収入	182	—
特別利益合計	253	39
特別損失		
固定資産除売却損	65	83
投資有価証券評価損	2	2
ゴルフ会員権売却損	2	—
特別損失合計	70	86
税金等調整前四半期純利益	18,659	18,092
法人税、住民税及び事業税	5,756	5,178
法人税等調整額	506	431
法人税等合計	6,263	5,610
四半期純利益	12,395	12,482
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,392	12,479

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	12,395	12,482
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,065	1,849
為替換算調整勘定	△3	△116
退職給付に係る調整額	40	114
持分法適用会社に対する持分相当額	△74	△82
その他の包括利益合計	△1,102	1,765
四半期包括利益	11,293	14,247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,290	14,243
非支配株主に係る四半期包括利益	2	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内物流 事業	国際物流 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	147,888	23,258	171,146	12,991	184,138	—	184,138
セグメント間の内部営業収益又は振替高	4,452	1,975	6,427	3,105	9,533	△9,533	—
計	152,340	25,234	177,574	16,097	193,672	△9,533	184,138
セグメント利益	15,295	972	16,267	797	17,065	3	17,068

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、重量建設機工事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額3百万円は連結消去に係る決算調整額です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内物流 事業	国際物流 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	151,976	18,997	170,973	13,100	184,073	—	184,073
セグメント間の内部営業収益又は振替高	4,759	1,564	6,324	2,297	8,622	△8,622	—
計	156,736	20,562	177,298	15,397	192,696	△8,622	184,073
セグメント利益	15,718	713	16,432	602	17,034	1	17,036

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、重量建設機工事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額1百万円は連結消去に係る決算調整額です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。